

令和5年 第2決算審査特別委員会討論要旨

◎市民ネットワーク

市民ネットワークを代表し、第2決算審査特別委員会に付託されました認定第2号から第7号までの6件につきまして、すべての認定を可とする立場で討論いたします。

長引く新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない状況下の中で、財政健全化に取り組まれた市理事者、職員の皆様に敬意を表します。

はじめに、下水道事業会計において、社会資本整備総合交付金事業において、さまざまな事業を行っていただいた中で、経営成績は安定的な資金運営となっておりますが、今後、人口減少が続く中、下水道管の更新が必要となってきます。更新に伴う財源確保と安定的な経営に努めていただきたい。

病院事業会計においては、地域住民の健康と命を守るという重要な役割をもっています。地域医療において、良質な医療体制が提供できるよう努力していただくと共に、全国の自治体病院がかかえている経営の合理化、効率化に努めていただきたい。

その他の事業会計においても、適切な行政運営に取り組まれることを期待し、賛成討論と致します。

◎新 政 会

私は新政会を代表して、第2決算審査特別委員会に付託されました、令和4年度認定第2号から第7号迄の議案に対し、認定を可とする立場で討論いたします。

令和4年度もコロナ禍の中、またウクライナ、ロシアの戦争等の影響の中、厳しい地方財政のもとで特定財源の確保や市税等の収納率向上に努められ、また、歳出面では経常経費の削減を図るなど健全財政を維持していることに、市長始め理事者、職員の皆さまに敬意を表します。

以下、審査の順に従って若干の意見を付して討論といたします。

1. 認定第3号 公営住宅事業特別会計

入居者の安否確認、修理、苦情等の敏速な対応、家賃滞納防止等を指定管理者と連携し努力されたい。

2. 認定第6号 下水道事業会計

人口減少により下水道使用料の減少、収益減、設備の老朽化等課題は多いが市民への負担転嫁にならないよう努力されたい。

3. 認定第7号 病院事業会計

医師、看護師の確保に最大限の努力を求め。

4. 認定第4号 介護保険特別会計

認知症患者が増えてきている事を考慮し、更なる地域包括ケアを求め。

5. 認定第2号 国民健康保険特別会計

更なる収納率の向上とともに健全経営に努力されたい。

6. 認定第5号 後期高齢者医療特別会計

疾病予防医療の充実に努められたい。

以上を要望し新政会の討論と致します。

◎公明党

公明党を代表して、第2決算審査特別委員会に付託されました認定第2号～第7号までのすべてを可とする立場で討論いたします。

コロナ感染症も5類感染症に移行して、経済活動も徐々に回復している中で、第9波が懸念されます。何としてもコロナに打ち勝っていかなければならないと思います。そういう意味からも、すべての事業会計について、適切な行政運営を期待し、賛成討論といたします。

◎れいわ新撰組

私は第2決算審査特別委員会に付託されました、令和4年度決算、認定第2号から第7号までの6件につきまして、全ての認定を可とする立場で討論いたします。

はじめに、度重なる新型コロナウイルス感染症の蔓延による混乱や物価高騰等の厳しい社会情勢の中、円滑な行政運営に大変な尽力をされた市理事者並びに職員の皆様に心からの敬意を表します。

令和4年度は、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを財源に特に市立病院の財政が8年振りに健全化へ転じ、地域医療存続の不安を払拭できた形になりました。

福祉やインフラ整備などの市民生活そのものに直結する事業も財政的に安定しており、計画的かつ余裕ある経費の執行に努めたものと認識しております。

以下、若干の意見を付して討論といたします。

1. 国民健康保険特別会計

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による検診実施率低下など、大変に厳しい状況であったと思われませんが、検診受診割合は36.6%と平均よりかなり高く全道7位と聞きまして大変な努力をされていると評価いたします。

長引いたコロナ禍による人間関係の希薄さから、認知症や生活習慣病も増えてきているとも聞いており、今後も引き続き市民の健康増進と医療費の抑制を図るため、アフターコロナに切り替え、特定健康診査の受診率向上と予防啓発を行いさらなる健康増進に努められたい。

2. 公営住宅事業特別会計

円滑に立替えや整備が進んでいる事を評価いたします。共用スペースのLED化や節水化など、経費削減や節約に工夫されながらこれからも安定した経営に尽力されたい。

3. 下水道事業会計

下水道事業は、市民生活に必要不可欠なインフラです。今後も、人口減少や節水機能の普及により使用料収入の減少は見込まれますが、新たに下水道整備を希望する郊外の市民の声も聞きますので、引き続き「滝川市公共下水道事業経営戦略」に基づいて計画的な財源確保と下水道整備及び維持管理推進強化に励まされたい。

4. 病院事業会計

財政健全化となったことは大変喜ばしいですが、国からの支援金も永遠ではないのでこれからの経営計画がまずもって肝心であると認識しています。

この軌道修正の一大チャンスを活かして、話題になっている自治体病院を参考に今までやりたくてもできなかったような新しい事も積極的に取り入れ、合理化及び効率化を図りながらさらなる安定した病院経営を期待します。

看護師や医師などの確保は病院経営だけでなく市民生活全体に大きな影響を及ぼすものでありますので、これからも継続した募集・採用及び離職防止対策を求めます。

5. 後期高齢者医療特別会計

10月からの医療制度の見直しに伴い、区分の変更もあり医療費負担の増えた家庭も少なからずあると思われます。区分は世帯収入で決まるため、一緒に暮らす家族を追い詰めないために本人だけでなくその家族も安心して生活を送れるよう扶養家族の複数いる世帯は減免措置を設けるなどの配慮措置を求めます。

また、介護保険の余剰金が大きいため、介護保険とも合わせて予算を使える仕組みにするなど柔軟な財政対応と市民サービス向上に尽力されたい。

以上をもちまして討論と致します。

◎21フォーラム

第2決算特別委員会に付託されました認定第2号から第7号までを可とする立場で以下若干の意見を付して討論します。

令和4年度を顧みすれば正にコロナの感染が最大化し未曾有の被害が拡大した年であります。当時の理事者はじめ職員の皆さんのご労苦に深甚より敬意を表すところです。

今後におきましても様々な様態の災害に見舞われる事態も予想されます。令和4年度の例を教訓として、職員一丸となって市民の生命、財産をしっかりと守れるようご努力をお願い申し上げます。